

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H25	H26	H27	H28	H29			
10-C1	安全教育	一般	山口県	直接		交通安全やまぐち推進事業	交通安全教室、飲酒運転防止等の講習	地域一円							8	
10-C2	安全教育	一般	山口県	直接		シルバードライバー支援事業	高齢者対象の交通安全講習、運転免許自主返納後の支援等	地域一円							13	
10-C3	啓発活動	一般	山口県	間接	交通安全対策山口県協議会	交通安全思想普及啓発事業	交通安全啓発チラシ等の作成配布、ラジオによる交通安全啓発	地域一円							2	
10-C4	活動支援	一般	山口県	直接		道路清掃ボランティア支援事業	草刈り機器等購入	地域一円							22	
10-C5	活動支援	一般	山口県	直接		道路沿道環境整備支援事業	沿道整備の苗を支援	地域一円							16	
									合計					60		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
10-C1	歩道等の整備とあわせて、児童・生徒や社会人を対象とした交通安全教室等を行い、交通ルール・マナーの向上を図ることにより、交通事故のない安全で安心な社会の実現を図る。															
10-C2	歩道等の整備とあわせて、高齢者を対象とした交通安全講習等を行い、高齢ドライバーの指導・育成や運転免許を自主返納しやすい環境を構築することにより、交通事故のない安全で安心な社会の実現を図る。															
10-C3	歩道等の整備とあわせて、関係機関・団体等と協働した交通安全に関する全県的な広報・啓発・実践活動を行い、交通事故のない安全で安心な社会の実現を図る。															
10-C4	(主) 新南陽津和野線・下上工区(10-A10)をはじめとする自歩道の整備に併せて、周辺地域における安全・快適な道路環境の確保を図るため道路清掃等を行うボランティア団体等の活動支援を行う。															
10-C5	(主) 新南陽津和野線・下上工区(10-A10)をはじめとする自歩道の整備に併せて、周辺地域住民の道路愛護ボランティア精神の向上を図るため、沿道花壇等の美化活動を行う自治会等の活動を支援する。															

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
									合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																										
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況																										
・(主)下関長門線(石原工区)の交差点改良による事故対策、(主)豊浦清東線(阿内中組工区)の現道拡幅による歩道整備、(主)岩国大竹線(関ヶ浜～小瀬工区)両国橋の架け替えによる交通の円滑化及び耐震化等により、安全でゆとりあるみちづくりの促進に貢献した。																										
II 定量的指標の達成状況																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>定量的指標</th> <th>最終目標値</th> <th>最終実績値</th> <th>目標値と実績値に差が出た要因</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標①(県内における人身事故発生件数)</td> <td>6,043件</td> <td>5,401件</td> <td>歩道整備、交差点改良、事故対策等のハード対策を計画的に実施したことに加え、県警や学校等の関係者が実施するソフト対策を総合的に推進した結果、県内における人身事故発生件数が減少し、目標を上回った。</td> </tr> <tr> <td>指標②(歩道設置率)</td> <td>40.20%</td> <td>40.34%</td> <td>歩道を計画的に整備した結果、ほぼ目標通りであった。</td> </tr> <tr> <td>指標③(防災・震災対策済み箇所の割合)</td> <td>30%</td> <td>30%</td> <td>老朽橋の架け替えや法面対策を計画的に行った結果、目標通りであった。</td> </tr> </tbody> </table>											定量的指標	最終目標値	最終実績値	目標値と実績値に差が出た要因	指標①(県内における人身事故発生件数)	6,043件	5,401件	歩道整備、交差点改良、事故対策等のハード対策を計画的に実施したことに加え、県警や学校等の関係者が実施するソフト対策を総合的に推進した結果、県内における人身事故発生件数が減少し、目標を上回った。	指標②(歩道設置率)	40.20%	40.34%	歩道を計画的に整備した結果、ほぼ目標通りであった。	指標③(防災・震災対策済み箇所の割合)	30%	30%	老朽橋の架け替えや法面対策を計画的に行った結果、目標通りであった。
定量的指標	最終目標値	最終実績値	目標値と実績値に差が出た要因																							
指標①(県内における人身事故発生件数)	6,043件	5,401件	歩道整備、交差点改良、事故対策等のハード対策を計画的に実施したことに加え、県警や学校等の関係者が実施するソフト対策を総合的に推進した結果、県内における人身事故発生件数が減少し、目標を上回った。																							
指標②(歩道設置率)	40.20%	40.34%	歩道を計画的に整備した結果、ほぼ目標通りであった。																							
指標③(防災・震災対策済み箇所の割合)	30%	30%	老朽橋の架け替えや法面対策を計画的に行った結果、目標通りであった。																							
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)																										

3. 特記事項(今後の方針等)										
引き続き、人優先の立場に立った交通安全対策や、円滑な交通を確保するための道路整備等を行い、安全でゆとりあるみちづくりを進める。										

